

新長崎県植物誌ノート (長崎県植物誌補遺) 3

中西 弘 樹¹⁾

Additional Notes on the Flora of Nagasaki Prefecture 3

Hiroki NAKANISHI¹⁾

はじめに

本稿は2015年に発刊した「長崎県植物誌」(中西 2015)の目録の補遺を中西(2017)に続いて記載するのが目的である。すなわち、分類の見直しによって種が変更されたもの、その後発見された県新産の植物と、希産種の産地追加を記録しておきたい。記載の形式は地名の後に、国土地理院5万分の1地形図の図幅名および4分割の位置、3次メッシュ地図番号、海拔、採集または確認年月日、標本番号の順に記す。情報をいただいた江頭一政氏、千々布義郎氏にお礼を申し上げます。

県新産の植物

種の変更

1. ブンゴウツギ *Deutzia zentaroana* Nakai (アジサイ科)

大村市黒木町多良山系 [諫早 3, 4930-30-66], 672 m, May 15. 2017, (No. 24053)

かつては広義のヒメウツギに含まれており、中西(2015)もこの学名にしたがったが、今では別種とされている。ヒメウツギとは葉の裏面や花筒、萼片に星状毛が多いこと、花糸の翼状体に明瞭な鋸歯がないことで区別される。ブンゴウツギは鹿児島県を除く九州各地に分布し、ヒメウツギも九州に分布することになっている。両種がどのようにすみ分けしているのかなど両種の関係は不明である。

2. オオミクリ *Sparganium erectum* L. var. *macrocarpum* (Makino) H. Hara (ガマ科) 図 1.

五島市三尾町 [福江 4, 4928-06-27], 10m, May 17. 2017, (No. 24121)

ミクリとして一つにまとめる考えと、二つの変種に分ける考えがある。中西(2015)はミクリとして記載したが、環境省のレッドリストは区別している。五島



図 1. オオミクリ

のものは塊茎があり、本変種に該当することを確認したので、ここに記録しておく。

県新産の在来種

18. ササバギンラン *Cephalanthera longibracteata* Blume (ラン科) 図 2

諫早市高来町五家原岳 [諫早 3, 4930-30-46], 1050 m, May 17. 2017, (No. 24089)

五家原岳の頂上近くの登山道の縁に、踏みつぶされたような状態で生育していた。このままでは枯死する



図 2. ササバギンラン

¹⁾ 〒851-2130 長崎県西彼杵郡長与町まなび野 2 丁目 29-4 亜熱帯植物研究所



図3. ヒメホウチャクソウ

危険性があったので、採集し標本にした。

19. ヒメホウチャクソウ *Disporum sessile* D. Don ex Schult. et Schult. f. var. *minus* Miq. (イヌサフラン科) 図3

諫早市高来町五家原岳仏の辻 [諫早3, 4930-30-46], 960m, May 22. 2017, (No. 24102)

多良山系の高海拔地には小型のホウチャクソウが生育しており、以前から疑問に思っていたが、ヒメホウチャクソウであることを知った。

20. メイテンオトギリ *Hypericum erectum* Thunb. var. *erectum* f. *perforatum* Y. Kimura (オトギリソウ科)

諫早市白木峰町横峯口 [諫早3, 4930-30-35] 670m, July 23. 2017, (No. 24191)

オトギリソウの仲間には、葉を透かしてみると、黒点があったり、明点があったりし、種を分けるのに重要な形質となっている。ふつうのオトギリソウには黒点があるが、黒点の代わりに明点があるものがあり、品種となっている。

県新産の外来種

21. イトツメクサ *Sagina apetala* Ard. (ナデシコ科) 図4



図4. イトツメクサ

西彼杵郡長与町まなび野 [長崎1, 4929-17-70], 90m, Apr. 7. 2017, (No. 24017)

長与町の歩道の敷石の間に、見慣れぬツメクサ類の植物が生育しているのを発見し、調べた結果、上記の植物であることがわかった。ヨーロッパ原産の帰化植物で、高さ10cmほどで、茎は細く全体が繊細である。花は花弁を欠き、4枚の萼片からなる。

22. マルバハッカ *Mentha suaveolens* Ehrh. (シソ科)

西海市西彼町鳥加郷俵頭 [大村3, 4929-36-70], 5m, Dec. 9. 2017, (No. 24318), 長崎市琴海大平町元越 [大村, 4929-36-44], 5m, Oct. 9. 2017,

ハーブの一種として導入され、栽培されていたものであるが、各地の人家付近に広がっている。いくつかのハッカの仲間が野生化しているが、本種は葉の先端が円頭で、縮んだように葉脈がへこんでいることで容易に区別できる。

23. ヤグルマハッカ *Monarda fistulosa* L. (シソ科) 図5



図5. ヤグルマハッカ

平戸市川内町千里ヶ浜 [佐世保3, 4929-74-92], 8m, July 25. 2017, (No. 24163)

北アメリカ原産の園芸植物であるが、栽培されているのは見たことがない。上記の地に野生化し、広がっているのをはじめて見た。

24. ハナヤエムグラ *Sherardia arvensis* L. (アカネ科)

長崎市唐八景 [長崎2, 4929-07-51], 230m, Apr. 15. 2017, (No. 24245)

ヨーロッパ原産の越年草で、世界各地に帰化している。道路沿いの草むらに生育していた。ヤエムグラに似ているが、薄紅色の花を咲かせる。

25. アレチニシキソウ *Euphorbia* sp. aff. *prostrata* Aiton (トウダイグサ科)

長崎市池島 [神浦4, 4929-24-68], 5m, Sept. 4. 2011, (No. 24008)

ハイニシキソウに似た植物を採集していたが、上記の和名がつけられているのを知った。ハイニシキソウ

に似ているが、別種と考えられているが、今のところ学名不詳、原産地不詳。茎全体に毛が多い。

希少植物の新産地

12. ハマサルトリイバラ *Smilax sebeana* Miq.(サルトリイバラ科) 図6.



図6. ハマサルトリイバラ

五島市三井楽町嵯峨の島 [三井楽4, 4928-04-68], 50m, July 2. 2017, (No. 24130)

これまで長崎県では男女群島しか知られていなかったが、嵯峨の島の島を周る道路沿いに生育しているのを発見した。本種の北限自生地である。

13. コキツネノボタン *Ranunculus chinensis* Bunge (キンボウゲ科)

佐世保市吉井町上吉田五蔵池 [佐世保2, 4929-65-76], 265m, June 25. 2017, (No. 24143)

アジアに広く分布し、日本では北海道南部から九州まで分布しているが、産地は少ない。長崎県ではこれまで諫早市からのみ記録されていた。上記の地は江頭一政氏が発見したもので、ご案内いただき、確認することができた。

14. ニガイチゴ *Rubus microphyllus* L.f.(バラ科)

西海市中浦南郷白岳北 [佐世保南部1, 4929-45-05], 280m, May 6. 2017, (No. 24074)

県内ではやや高海拔地に生育し、これまで雲仙山系

と多良山系に知られていたが、上記の地の林縁部に生育していた。

15. オオバライチゴ *Rubus croceacanthus* H. Lév.(バラ科)

西海市中浦南郷河内岳北 [佐世保南部1, 4929-45-05], 280m, May 6. 2017, (No. 24075)

五島列島や平戸島ではややふつうに見られるが、それ以外では知られていなかった。上記の生育地は千々布義郎氏の発見によるものである。道路の建設によって攪乱されたために埋土種子から発芽したのかも知れない。

16. コモウセンゴケ *Drosera spathulata* Labill.(モウセンゴケ科)

西海市西海町中浦南郷 [神浦1, 4929-35-94], 190m, May 14. 2017, (No. 24350)

県内のコモウセンゴケの分布については、中西(2015)に分布図が示されているように、長崎市旧琴海町から西海市西彼町にかけて集中的に分布し、川棚町の一部と、大瀬戸町の一部に知られていた。西海町では初めての発見であり、分布の西限にあたる。生育地は蛇紋岩地帯の斜面で、点々と生育していた。

17. ゴキヅル *Actinostemma tenerum* Griff.(ウリ科)

長崎市宮崎町川原大池 [野母崎3, 4829-76-46], 1m, Aug. 11. 2016

これまで壱岐、諫早、佐世保、東彼杵に知られていたが、諫早市を除くとまれであった。長崎市の川原大池畔に生育しているのを発見した。本種は川沿いなど水辺に生育し、種子は水で運ばれるものと思われる。川原大池には以前には見られなかったもので、どのようにして侵入したのか不明である。

引用文献

中西弘樹 2015. 長崎県植物誌. 388pp., 長崎新聞社, 長崎.

中西弘樹 2017. 新長崎県植物誌ノート(長崎県植物補遺) 2. 長崎県生物学会誌80: 16-19.